

ジャングルジム 通信

入試が近づいています

令和7年度中学入試（埼玉県内校）まで残り1ヶ月を切りました。史上最多の人数となるジャングルジム新所沢8期生と、今年度より始動したふじみ野1期生も最後の模試が終わり教室内に緊張感が出てくるようになりました。

8期生塾内表彰

12月1日に第6回合不合格判定テストが終了し、毎年行っている塾内表彰が行われました。今年は例年と傾向が異なる合不合格でしたが、模試だからといって決して軽視せず塾内で対策を重ね、本番の模試の日にはその日のうちに解説授業をしていながら各自の弱点を明らかにしていきました。



↑ 2階の共有スペースに過去問用の棚が設けられ、いよいよ過去問対策の時期となります

4科目8期生最高偏差値	67.6 第5回・女子
国語8期生最高偏差値	75.5 第3回・男子
算数8期生最高偏差値	65.9 第5回・女子
社会8期生最高偏差値	68.0 第2回・女子
理科8期生最高偏差値	71.3 第3回・女子

国語と理科は歴代最高偏差値を更新しました！凄い！



開智所沢中の2回目の入試はどうなるか

2024年度に開校した開智所沢中等教育学校の入試が今年行われ、ジャングルジムからも多くの合格者が出ました。そして、2025年に2回目となる入試が予定されており、1回目の入試と仕組みが変更された部分もあって、我々も注目しているところとなります。

名称	第1回入試	特待A入試	特待B入試	算数特待入試	第2回入試	日本橋学園入試
試験日時	1月10日(水) 午前	1月11日(木) 午前	1月12日(金) 午前	1月12日(金) 午後	1月15日(月) 午前	2月4日(日) 午前
募集定員	100名	30名	45名	15名	45名	5名

上に示しているのが2024年の入試予定で
下に示しているのが2025年の入試予定と
2024年度の合格者数となります。

名称	第1回入試	特待A入試	算数特待入試	第2回入試	特待B入試	日本橋学園入試
試験日時	1月10日(金) 午前	1月11日(土) 午前	1月11日(土) 午後	1月12日(日) 午前	1月15日(水) 午前	2月4日(火) 午前
募集定員	100名	40名	25名	65名	55名	15名
前年度合格者数	1628名	208名	351名	653名	739名	37名

12日午後に行っていた算数特待入試を11日午後に変更したり、12日と15日の入試を入れ替えたり、募集人数を全体的に増やしていることがわかります。

特筆すべき大きな変更点としては、①合格発表が当日になった点 ②複数回入試で得られる加点の仕組みが変わった点が挙げられ、これにより1月受験校の日程組みのところで上手に立ち回る必要が出てくるものと考えます。

昨年度は10日の第1回入試を受験した受験生が第2回入試を受ける際に一律30点の加点がありました。したがって、10日→開智所沢 11日→栄東・星野学園・城北埼玉等 12日→開智所沢（30点の加点を持って）というような受験スケジュールを立てて、1年目の入試でどうなるかわからない部分を何年も同じ入試をやっている他校と組み合わせることによって、予想外の結果に慌ててしまわないような県内入試の併願というものが立てられました。

しかし、今年の開智の加点の仕組みは2回目の受験→10点 3回目の受験→20点 4回目以降の受験→30点

という加点のされ方をするので、昨年のように11日に他の学校を受けてから12日にもう1回受けにいくと10点加点され、11日の午前・午後を開智を受けた上で12日に受けにいくと30点の最大加点が得られるということで、11日に他校を受けた受験生と開智（午前・午後）を受けた受験生で12日では20点の差が、15日でも10点の差が生じるということになります。そして、開智所沢の出願者数が第1回で2845名、特待Aで1755名、算数特待で1611名、第2回で2316名、特待Bで2028名と（男女計、12月10日現在）と**全ての回にて昨年の受験者数を大きく上回っている**という状況となっております。もちろん全部出願しても料金は一律というところが影響してデータ上凄まじい増え方に見える面もあるでしょう。しかし、第1回の人数が昨年の最終2309名から12月10日段階ですでに500名以上も上回っているということと、まだ出願締め切りまで1ヶ月以上残しており今後も増えていくことが必至であるということからどのような入試になるのかが読めない部分が非常に大きくなっており、昨年は岩槻の開智と開智所沢の合格点（試験問題は同じ）第1回では26点所沢の方が低かったのですが、その差が縮まる、もしくは逆転するなんてことがあるかもしれません。

そうなってくると、11日の特待A入試と算数特待入試は偏差値や試験の難易度に問わずとりあえず参加しておいて、最大加点を得ておかなければ、「キミ以外の600人はすでに30点持っているけれど、キミは10点だから20点はテストの点数で逆転してね」ということになってしまい、苦戦を強いられることになることになるとかと思えます。

もちろんこの加点云々は**第1回入試が不合格であるということ**が前提としてあり、また特待の判定には用いられません。昨年度合格した7期生は全て1回目での合格でした。しかし、昨年そうだったから今年もそうだろうということは通用しません。今年は開智所沢、合格をもらうまでは全日程参加するという方針で対策をしていくこととなるかと思えます。

Omohaiさんに場所提供をします

2024年夏に始動した多拠点フリースクール【Omohai】の活動がジャングルジムの校舎内でも行われるようになります。

まずは12月17日にシェルトリー制作ワークショップが行われ、クリスマスに飾れる可愛い自作ツリーが持ち帰れる素敵なイベントとなりそうです。

Omohaiは、おもしろハイスキルを磨いて遊びと学びをフュージョンさせることをコンセプトとした多拠点フリースクールで、①感性を伸ばす学びの形②枠にハマない関わり③熱中を引き出す④自分らしい形に挑戦できる選択肢が魅力となっていて、不登校や不安定登校のお子さんや居場所探しにお困りの方、学校以外の選択肢をお探しの方等にとって魅力的なスペースとなるのではないかと考えております。私どもは進学塾ですので、学びということに対して、遊びのような楽しさで測りづらい面があり、目先の成績向上やその先にある合否というところで測ってしまいがちなのですが、



“登り方は人それぞれ”というジャングルジムの理念に立ち返り、授業が始まる前の時間にこのような団体に場所を提供するのはいいことじゃないかということで、今回の提携が決まりました。

今後も定期的に場所をお貸ししたり、それ以外でも役に立てそうなことがあったら積極的に参加していき、画一的な価値観で、いくつかの“登り方”しか認めないような制度や仕組みに「それっておかしいんじゃないの」と言えるような取り組みをしていきたいと思っております。



ジャングルジム通信へのご意見やご感想、このような記事を書いてほしいというご要望等ありましたらお気軽にLINEを送ってください。



中学受験専門塾ジャングルジムのホームページはこちら